

歴	史	を	感	じ	て
---	---	---	---	---	---

## 夜須①朝日（朝日西区、朝日東区）マップ

この資料は、「筑前町の歴史」、「夜須の民話と伝説」、インターネット等を引用し作成しています。

# ぴら～り



# 散歩



朝日の神社、遺跡、公民館、公園等や地域の活動を紹介します。

これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな！

### 朝日

神社	高原宝満宮
遺跡	宮の上、坂井田遺跡
	朝日薬師堂(日照寺跡)
伝承 その他	朝日長者
	孝子弥四郎
	村田出羽守の墓

## 孝子弥四郎の肖像画 (斎藤秋圃作 教覚寺蔵)



享和（1801～1804年）の時代。筑前国の朝日村（旧福岡県朝倉郡夜須町）に住む弥四郎は、親に孝行を忘れない働き者であった。この地方では、行いがよくて親に孝行するもののことを総称して「よか男」と言った（美青年の意味とは違う）。（弥四郎の話は、筑前町の図書館の紙芝居で見れます。）

### 孝子弥四郎の唄

夜須の 朝日の 弥四郎は  
親に 孝行 尽くしけり  
牛馬に おちを あてざれば  
うけもちの 田は 作りどり

★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ：筑前町社会福祉協議会  
（筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館）  
TEL：0946-42-4555（担当 時津、石丸）  
Eメール：chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp



井口兵助  
(一五六五～一六二一)

村田出羽守吉次（むらたではのかみよしつぐ）は黒田二十四騎の一人で本姓井口、幼名與一之助、後に兵助と改。一族や3人の兄（討ち死にす）も良く黒田家に尽くしました。本人は13歳の砌（みぎり：ころ、時）、長政公が信長の人質となったとき陪仕（ばいし：食膳に侍して給仕すること）した。長じて戦場に於いて毎度勇戦し勇猛で一日に首7つを取ったものにしか許されない朱具足と一代朱柄の槍を許された。朝鮮陣でも高名をあげ、筑前入国後は二千石を賜り足軽大頭となり、如水の命で村田出羽守と号す。大坂城天守台の石垣普請の命を受け難なく普請の奉行を勤めた。元和7年没。享年57歳。

# 朝日マップ

## 朝日東上の原公民館

## 村田出羽守吉次の墓

## 朝日薬師堂（日照寺跡）

村田出羽守吉次は、播州（兵庫）の出身で、黒田長政公の家臣でした。村田出羽守は平田稼作と高田新兵衛の養子で、山陰（山陰）の閑望において長政公より閑望許可を取るために助力し、閑望を行い山陰村を起しました。

この墓は、山家代官所の身方志方彦が寛文一〇年（一六三〇）九月に建てたもので、出羽守は元和九年（一六二二）一〇月二十九日に没していますが、なぜか出羽守の墓を建てたのかは不明ですが、出身地も同じであり、縁であった可能性がうかがえます。

平成二十四年三月



## 朝日東蔵役公民館

## 朝日東高原公民館

## 孝子弥四郎



## 宮の上・坂井田遺跡



みやのうえ さかいだいでせき  
所在地 朝倉郡坂井町朝日

山家川左岸の段丘上に分布し、弥生時代後期中頃から終わりの頃（一八〇〇〜一七〇〇年前）のもので、竪穴住居跡一五軒、掘立柱建物二三棟、土壇六九基、溝跡数条等を検出しました。

特に、宮ノ上遺跡一号竪穴住居跡床面から国内でも珍しい「有鉤銅の鏝型」が出土しました。有鉤銅は、鉤状の突起がついた銅製の腕輪で、もともとは南の海で採れるゴウボラ貝で作っていたものを銅で鍍したものです。

平成二十二年三月

## 朝日長者（伝承）

長者は栄華に暮らしていたが、ある時、妻が出した蕎麦が気に入らず、足でけた。それから、家運はしだいに傾いていった。（途中略）朝日長者は自分を悔い、毎日拝んだという二つの石の祠（ほくら）が残っている。



## 高原宝満宮



## 朝日西公民館